

研究No. (記載不要)	— —
-----------------	-----

平成24年度配分 研究成果発表報告書(実績)

研究名	静岡・浜松の地域デザイン史の研究				
配分を受けた特別研究費	特別研究費				720 千円
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究者
	デザイン学部	生産造形学科	教授	黒田 宏治	他 0名
発表の方法	1 紀要 名称:		号数	第 号 (頁～ 頁) (年 月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法:出版 芸術工学会地域デザイン史特設委員会編 『日本・地域・デザイン史 I』美学出版 第3章 静岡・浜松デザイン史(85～132p)の 主筆を黒田が務めた(総括編著)		発表日	平成25年 9月20日	

※ 学会等での発表及びその他の場合は、学会報等発表を証する資料を添付すること。

※ 配分を受けた翌年度の3月末までに提出

(研究の目的等)

近現代の日本のデザイン史に関する研究の歴史はまだ浅く、概括的には「日本デザイン史」(竹原・森山編著、美術出版社、2003年)の刊行があり、基礎資料集成として「叢書近代日本のデザイン」(森監修、ゆまに書房、2007年～)の刊行が進められている。

しかし、特定の地域を概観するようなデザイン史の研究・編纂に関しては、2010年刊の「旭川デザイン史」(澁谷編著)が希有な試みであり、今後の各地域での研究・編纂が待たれるところである。1989年のデザインイヤーから90年代のバブル崩壊を経て、地域におけるデザインは低迷を続け、新たな展望を見出せず今日に至っている。地域の産業・文化の振興に資するデザインの可能性を鑑みるならば、歯がゆさを感じないわけにはいかない。

そこで、この研究では、そのようなデザイン史研究の今日的動向のなか、本学の拠って立つ静岡・浜松地域を対象に、デザイン資料・情報の掘り起こしを行い、近現代を概括する地域デザイン史を研究・編纂を進めようとするものである。

(研究の実施方法等)

①既存研究・収集資料の整理・分析

* 関連研究業績(本学紀要掲載)

1. 静岡県におけるデザイン振興行政の変遷(1950～1990) / 2003年3月
2. 静岡県デザインセンターの活動展開(1990～2001) / 2002年3月

②情報調査・検討(文献資料調査、関係者ヒアリング調査等)

A. 行政関係

1. 静岡県庁関係(1次・情報収集済)、浜松工業技術センターなど

B. 地場産業関係

2. 木工家具産業とデザイン(静岡地域)、繊維産業とデザイン(浜松地域)
3. 静岡県デザイン振興会(2005年に解散 / 県内デザイナー、関係企業の団体)

C. 県内企業(大企業、特色企業等)

4. スズキ(浜松市)、ヤマハ(浜松市)、ヤマハ発動機(磐田市)、特種製紙(富士市)など

D. 教育関係

5. 静岡文化芸術大学、常葉学園大学、東海大学、県立浜松工業高校デザイン科ほか

③地域デザイン史への証言(インタビュー調査、執筆依頼など)

6. 鴨志田厚子、土屋晃一、川合和彦、佐々木亨、高梨廣孝、渥美浩幸、竹原あき子など ↓

上述の調査結果を踏まえ、静岡・浜松地域デザイン史の年表作成、資料編纂、原稿記述

(得られた成果等)

第3章 静岡・浜松デザイン史

総説1 静岡・浜松地域の時代とデザイン(黒田宏治)

総説2 静岡地域のデザイン文化土壌(渥美浩幸)

総説3 遠州地域のデザイン文化土壌(竹原あき子)

静岡県のデザイン行政(土屋晃一、川合和彦、鴨志田厚子)

静岡地域の産業とデザイン(東恵子、黒田宏治)

遠州地域の産業とデザイン(竹原あき子、佐々木亨、高梨廣孝、一条厚)

静岡・浜松地域の景観・建築デザイン(塩見寛ほか)

静岡・浜松地域のデザイン教育(黒田宏治ほか)

静岡・浜松デザイン史年表(黒田宏治)